

地震体験の聞き取り

福山市立引野小学校 5 年 2 組

目次

- 1, めあて
- 2, 震度について
- 3, 地震体験談 田尻先生
- 4, 地震体験談 校長先生
- 5, 地震体計画 引野交流館の館長さん
- 6, 地震体験談 教頭先生
- 7, 光成校長先生の体験談と地震体験計画(やり方)
- 8, まとめ

①めあて

私たち、引野小学校の５年生は、総合の学習で地震について調べています。

そこで、みなさんに地震の危険さを知ってもらうために先生たちの経験を聞き、まとめました。

私達の目標は、「地震の怖さを知ってもらいたい」という目標です。

どうしてもみんなに地震のこわさを知ってもらいたいと話していると、

「ホームページにのせて全国の人たちに見てもらおう！」

という意見がでました。

最後まで見てください！！

②震度について

震度 1 ...誰も気づかない

震度 2 ...屋内で静かにしている人は気づく

震度 3 ...屋内にいる人のほとんどが気づく

震度 4 ...歩いている人のほとんどが揺れを感じる

震度 5 弱...大体の人が怖いと思い、何かに捕まりたいと思う

震度 5 強...大体の人が不便に思う

震度 6 弱...立っていられなくなる

震度 6 強...立っていられなくなり、はいはいのようにしないと動けなくなる

震度 7 ...固定していない家具のほとんどが崩れる

地震の種類には、こんなにあります。震度 6 弱には立っていられなくなり、震度 7 にまで登ると、家具が崩れ怪我人が出るかもしれません。なので、これらが来る前に素早く準備をしましょう。



③地震体験談（田尻先生）

保健室の田尻先生にお話を聞きました。

田尻先生が経験した地震は、「阪神・淡路大震災」だそうです。

その時は小学一年生でした。

家で寝ていると、がたがたという音で目が覚めたそうです。

起きると、お父さんが本棚をおさえていたそうです。

④地震体験談（校長先生）

校長先生にお話を聞きました。

東日本大震災の日、校長先生は富山県の小学校へ見学に行っていました。

そのときに大きな地震がおきました。

富山から京都まで帰った時は、まだ電車や新幹線も動いてたそうです。

だが、東京行の新幹線は動いていなかったなので、京都駅には

人がたくさんいて、みんな困っておられたそうです。

⑤地震体験談（引野交流館の館長さん）

交流館の館長さんが経験した地震で一番大きかった地震の震度は、震度3です。

その時は、お皿の位置が変わっていて、本棚の本が落ちたそうです。

近くに住んでいた藤井さんの家に土砂くずれが起きたそうです。

また、家の近くにある犬小屋が崩れて

犬の頭だけがみえていたそうです。



⑥地震体験談（教頭先生に聞いた事）

教頭先生の体験は、大きな地震が2つありました。

1つ目は、「芸予地震」震度5強 教頭先生は呉市にいました。

ブロック塀が壊れ、近所のおばあちゃんが亡くなったそうです。

2つ目は、「阪神・淡路大震災」震度1 教頭先生は山口県にいました。

神戸の大学に行った同級生二人が、アパートが崩れて亡くなったそうです。

⑦地震体験計画（やり方）

光成校長先生に地震の体験を聞くと震度3の揺れについて教えてもらいました。
そのお話を参考に、学校にある安全マットを使った体験を計画中です。

マットに段ボール3枚重ねた物に
1人乗り、4人ぐらいでマットを
揺らすと震度3強を体験できます。
（揺らすのは3人でもOK）

こんな感じで揺らす→



⑧まとめ

地震はいつ来るかわからないし、今、来るかもしれません。

自分、そして大切な人の命を守るために、早めの避難を心がけましょう。

そして、自分の大切なもの、必要な物などを備えて、

家族や友達と相談をして逃げる場所を決めておきましょう！

